

令和3年度 全農杯全日本卓球選手権大会県予選会（ホープス・カブ・バンビの部）

にあたっての安全対策ガイドライン

1. 大会を開催するにあたって

大会開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合には十分な感染症対策を行う。ただし、全国や県内の感染状況に応じて、大会中止を決定する場合がある。

- ① 指導者・引率者は必ず、選手および保護者に参加の意思を確認し、大会参加を強要することがないように配慮する。
- ② 発熱等の症状がみられる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。大会中に関しても指導者・引率者は選手の健康観察を徹底し、仮に発熱等がみられた場合は速やかに帰宅させること。

2. 大会中の具体的な感染症対策

- ① 無観客試合とする。会場への入場は選手、指導者（アドバイザー各チーム男女2名以内）、役員のみとする。ただし、選手1名につき1名の保護者の入場を認める。
会場への入場はチーム毎とし、選手・指導者・保護者は外階段を上がって2階出入口外側で待機し、代表者のみで入場して選手の健康状態を報告（報告書に責任者の署名、押印をお願いします。）、大会の受付を済ませてから、その後チーム毎で入場する。受付は2階出入口付近のロビーで行います。
- ② 競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などの基本的な感染症対策を徹底すること。
- ③ 会場出入口には消毒液を設置する。
- ④ 参加者の手が触れる場所を定期的にアルコール消毒する。
- ⑤ 応援については拍手のみとし、必要以上の大きな声を出すのはお控えください。
- ⑥ 更衣室の利用については短時間・少人数での利用にご協力下さい。

3. 試合中の具体的な感染症対策

- ① 各台に1個アルコール消毒液を準備し、選手及び審判は試合前後に手指消毒をする。
- ② 選手同士及び選手と審判の握手は行わない。
- ③ 素手で卓球台に触れないようにする。
- ④ 自分の試合中以外はマスクを着用する。
- ⑤ タオルや飲料の共有は避け、個人のものを使用させる。
- ⑥ 日本卓球協会制定のガイドラインに沿った特別ルールを適用することがある。

4. その他

開場は8時30分とします。感染症対策のため受付に時間が必要になります。受付終了後に会場設営を行いますので、会場設営のご協力をお願いします。